

理解を深め

意識を高めよう



会 長 岩 井 幸 三
幹 事 戸 塚 功 宏

R I会長今年のテーマは「自分を越えた眼を」と云う。大変すばらしいそして高度な意義を持つ言葉であります。

超我と云う言葉の通り私共は我を無にして物を考え、常に自分を最も高い所へもって行こうとする事に努め、そうした位置から前方を眺め又しっかりと足元を見ることの大切さを忘れてはならないと思います。

当クラブも本年六年目に入りました。過去五年間大変良い姿で成長して参りました。これも偏に歴代会長幹事を中心にメンバー全員の和と協力のたまものであると喜びに堪えない次第であります。今後更に理想に向かって前進し続けて行く為にはこの五年という一つの貴重な節目を乗り越えた時点で一度お互いの足元に眼を向けて、マナー化し足踏みしている面が無いのか、例会の雰囲気作りもさることながら継続的事業の中にも何か一つ新しい風を吹き入れる方法があるのではないかと、等々種々あらためて見直す時期到来の感があります。

そこで本年はクラブの内部充実に重点を置き、より深くロータリーを理解しロータリアン意識の昂揚を図ることによって、財団に寄せる関心、出席に対する熱意等々自ら最良の方向に前進出来る可能性を高める再基礎作りの年度にしたいと念じて居ります。

R I会長からは本年特別のプロジェクト指示はありません。よって分区内各クラブの情報交換を密にし、外に向かって働きかけられる事業の少ない年度であるだけにかえって目立たず難かしいと思われそうですが、各委員会毎に何か一つ重点になるものを置いた上で独自の活動計画を伸びやかに立案し実行に移して行ってほしいと思います。理解・和・信頼・親睦・奉仕各々メンバー一人一人の心

の持ち方次第で確実に成果を挙げられるものと心から信じて居ります。

和をもって明るく、楽しく、熱意あふれるクラブを育くみましょう。

本年度から国際ロータリー第2750地区となり0が一つ加えられました。ちなみに地区の重点目標を下に掲げ各位の指針に資したいと存じます。

(1) 例会に出席して、クラブの充実に総力を結集しよう。

(2) 友好を深めて奉仕の実践に努めよう。

(とくに一クラブ一重点奉仕プロジェクトの達成)

(3) ロータリー情報を学び理解をすすめよう。

(4) のぞましいロータリーの輪を拡げよう。

(5) 参加と協力によってロータリーを分かちあおう。